

令和元年 12月 19日

山口県教育委員会会議議案

山口県教育委員会



# 議案

番号	件 名	主 管 課
1	山口県教育委員会表彰規則による表彰について（報告承認）	教 育 政 策 課

議案第1号

山口県教育委員会表彰規則による表彰について(報告承認)

山口県教育委員会表彰規則(昭和61年山口県教育委員会規則第6号)第2条の規定に基づき、令和元年度教育功労者を次のとおり決定したので報告し、承認を求めます。

令和元年(2019年)12月19日

山口県教育委員会  
教育長 浅原 司

永年精勤の部(表彰規則第2条第6号)

所属名	職名	氏名	勤務年数	備考
下関商業高等学校	教諭	島井 国治	32年	令和元年11月24日 死亡退職
山口市立大内小学校	教諭	田中 京子	29年	令和元年12月13日 死亡退職

項目	標準	測定方法	備考
1. 品質検査	品質検査	品質検査	品質検査
2. 数量検査	数量検査	数量検査	数量検査

## 報告事項

番号	件 名	主 管 課
1	令和2年度(2020年度)山口県立学校職員(実習助手・寄宿舍指導員)採用候補者選考試験の結果について	教 職 員 課
2	令和元年度山口県学力定着状況確認問題の結果について	義 務 教 育 課
3	令和2年3月新規高等学校等卒業予定者の就職内定状況等について	高 校 教 育 課

令和2年度(2020年度)山口県立学校職員(実習助手・寄宿舎指導員)採用  
候補者選考試験の選考結果について

教職員課

記

1 概要

実習助手志願者については、70人のうち、62人が受験し、選考の結果、13人を採用候補者名簿の登載予定者としました。

寄宿舎指導員については、志願者10人のうち、10人が受験し、1人を登載予定者としました。

倍率は、実習助手が4.8倍、寄宿舎指導員が10.0倍となりました。

職種、選考区分、志願区分別の採用候補者名簿登載予定者数、倍率等は、次のとおりです。

職種	選考区分	志願区分	志願者数	受験者数	登載予定者数	倍率	
				A	B		A/B
実習助手	一般選考	普通教科	43 (37)	37 (32)	7 (5)	5.3 (6.4)	
		農業	生産系	8 (11)	8 (10)	1 (1)	8.0 (10.0)
			食品系	2 (-)	2 (-)	1 (-)	2.0 (-)
		工業	機械系	11 (10)	9 (9)	1 (2)	9.0 (4.5)
			電気系	4 (3)	4 (3)	2 (1)	2.0 (3.0)
		水産	機関係	1 (-)	1 (-)	1 (-)	1.0 (-)
	障害者を対象とした選考	一般選考の志願区分と同じ	1 (1)	1 (1)	0 (0)	- (-)	
	合計			70 (71)	62 (63)	13 (13)	4.8 (4.8)
寄宿舎指導員			10 (13)	10 (11)	1 (1)	10.0 (11.0)	

注・( )内の数字は、昨年度のもの。

・昨年度合計には、今回、実施していない農業(土木造園林業系)、工業(化学工業系・土木建築系)、看護を含む。

2 その他

教員採用予定者と同様、採用予定者を対象に着任するまでの心構え等について学ぶ研修を、12月26日(木)、27日(金)に実施します。



《参考》

令和2年度（2020年度）山口県立学校職員（実習助手・寄宿舍指導員）採用候補者選考試験の実施について

教職員課

1 選考区分、志願区分、採用見込者数及び職務の概要

職種	選考区分	志願区分	採用見込者数	職務の概要	
実習助手	一般選考	普通教科	5人程度	普通教科の実験又は実習について、教諭の職務を助ける。	
		農業	生産系	1人程度	農業の実験又は実習について、教諭の職務を助ける。
			食品系	1人程度	
		工業	機械系	1人程度	工業の実験又は実習について、教諭の職務を助ける。
			電気系	2人程度	
	水産	機関係	1人程度	水産の実験又は実習について、教諭の職務を助ける。	
	障害者を対象とした選考	一般選考の志願区分と同じ	1人程度	一般選考の「職務の概要」と同じ	
寄宿舍指導員			1人程度	特別支援学校の寄宿舍における児童、生徒の日常生活上の世話及び生活指導（食事、入浴等日常生活全般に関わる指導）に従事する。（夜間勤務有り。）	

2 受験資格

昭和45年4月2日から平成14年4月1日までに生まれた者  
 実習助手（農業・工業・水産）については、別に資格要件が必要

3 志願書類等の受付期間

令和元年8月26日（月）から9月18日（木）まで

4 試験の期日・場所

- (1) 期日 令和元年10月20日（日）
- (2) 場所 山口県セミナーパーク

5 試験の内容

- (1) 実習助手（普通教科）・寄宿舍指導員  
 教養試験、小論文、面接、適性検査
- (2) 実習助手（農業・工業・水産）  
 教養試験、専門教科試験、面接、適性検査

6 採用候補者名簿登載予定者の発表等

- (1) 日時 令和元年11月25日（月）午前9時
- (2) 内容 採用候補者名簿登載予定者の受験番号を掲載
- (3) 場所 山口県庁エントランスホール  
 山口県教育委員会の教職員課のホームページ

## 令和元年度学力定着状況確認問題結果について【概要版】

山口県教育庁義務教育課

令和元年 12月

### 1 実施概要

#### (1) 目的

児童生徒の客観的な学力状況の経年的な把握と分析を通して、課題解決に向けた指導の工夫改善等の取組の充実を図る全県的な検証改善サイクルを確立し、県内全ての児童生徒の学力の確実な定着と向上を図る。

#### (2) 実施期日

令和元年10月23日（水）※学校の状況に応じて、10/21～10/31の期間に実施

#### (3) 実施対象及び実施内容

##### ①小学校

学 年	実施人数	内容（時間）	
第4学年	10,839人	国語、算数(各40分)	及び質問紙
第5学年	10,859人	国語、算数、社会、理科(各40分)	及び質問紙
第6学年	11,058人	国語、算数(各40分)	及び質問紙

##### ②中学校

学 年	実施人数	内容（時間）	
第1学年	10,426人	国語、数学(各45分)	及び質問紙
第2学年	9,992人	国語、数学、社会、理科、英語(各45分)	及び質問紙

### 2 教科の問題に関する結果

#### (1) 平均正答率

##### ①小学校

	国 語	算 数	社 会	理 科
第4学年	59.1%	57.8%		
第5学年	57.4%	55.1%	57.3%	54.1%
第6学年	71.9%	51.5%		

##### ②中学校

	国 語	数 学	社 会	理 科	英 語
第1学年	61.3%	60.0%			
第2学年	50.1%	55.0%	44.9%	49.8%	56.6%

(2) 教科の問題結果から見られる特徴

- 基礎的・基本的な内容を問う問題については、概ね成果や改善傾向が見られる。
- 基礎的・基本的な内容を活用して具体的な場面について考察する問題や、条件に沿って自分の考えや根拠等を記述する問題については、依然として課題が見られる。

		主な成果	主な課題
小学校	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な漢字を正しく使うこと</li> <li>○ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●文と文の意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くこと</li> <li>●目的や意図に応じて自分の考えをまとめて書くこと</li> <li>●目的に応じて文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むこと</li> </ul>
	算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○同分母分数の減法の計算をすること</li> <li>○数量の変化に着目して、その様子を表にまとめること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●仮分数の大きさを単位分数のいくつ分で表すこと</li> <li>●比較量とその割合から、基準量を求めること</li> <li>●必要な数値を抽出して、値段の差がA店の値段の10%にあたることを式で表すこと</li> </ul>
	社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○スーパーマーケットの工夫について理解すること</li> <li>○昔の人々の使っていた道具を理解すること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●等高線の名称を理解すること</li> <li>●日本の北方領土について理解すること</li> </ul>
	理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○物の重さについて、物の形や物自体の増減とを関連付けて理解すること</li> <li>○温度によって変わる水の姿を理解すること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●飛行機が飛ぶ距離について、一つの実験方法とは別の方法を考えること</li> <li>●星や星座の見た目の位置の変化について、推察すること</li> </ul>
中学校	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文脈に即して、適切な語句を選択すること</li> <li>○内容を的確に捉え、必要な情報を取り出すこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●伝えたい事柄について、根拠を明確にして書くこと</li> <li>●表現の意図を理解して説明すること</li> </ul>
	数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計算のきまりにしたがって計算をすること</li> <li>○表から読み取った事柄を的確に評価すること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基準量を基に比較量を求めること</li> <li>●事象と式の対応を的確に捉え、文字式の成り立ちを説明すること</li> <li>●判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること</li> </ul>
	社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人々の暮らしと雨温図を関連付けて選択すること</li> <li>○太閤検地と刀狩を兵農分離と関連付けて理解すること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●資料から必要な情報を読み取り、読み取った情報を関連付けて説明すること</li> <li>●正長の土一揆の意義について複数の資料をもとに適切な語句を入れること</li> </ul>
	理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○音を高くする条件に合う実験方法を適切に選択すること</li> <li>○化学式を見て単体か化合物かどうかを判別すること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●グラフから物質の密度を読み取る方法を説明すること</li> <li>●資料を活用して火成岩の特徴から岩石の種類を判別すること</li> </ul>
	英語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日常的话题について、情報を正確に聞きとること</li> <li>○基本的な語や文法事項を理解して、会話の中で適切に使うこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●文脈に合うように内容を考えて、基本的な文法事項を活用し英文を書くこと</li> <li>●聞いて把握した内容について、適切に応じる</li> </ul>

(3) 特徴的な問題例

① 小学校国語

○ 成果や改善傾向の見られた問題

【問題例】 国語 小学校6年 4 四

ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いること 正答率 82.6%

4 四 山下さんは、【インタビューの様子】の中の「七転び八起き」ということわざの意味を調べて、ノートにまとめています。次の【ノートの一部】の う に入る例として最も適切なものを、あとのアからエまでの中から一つ選んで、記号で書きましょう。

七転び八起き

○ 意味 ① 何度失敗しても、あきらめずに立ちあがってちよう戦すること。

② 人生のうきはずみはげしいこと。

○ 使い方の例 う

ア 山田さんと田中さんは、いつも仲がよくて、気が合う仲間だね。七転び八起きだね。

イ 同じ作品でも、見る人によって受け取り方はいろいろあるね。七転び八起きだね。

ウ もうすぐ卒業式だね。あっという間に、月日がたったように思うよ。七転び八起きだよ。

エ 運動会のダンスはなかなかうまくいかないけれど、がんばろう。七転び八起きだよ。

【正答】 エ

● 課題の見られた問題

【問題例】 国語 小学校4年 2 五

文と文の意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くこと 正答率 19.4%

2 五 林さんは、読み手に伝わりやすくするために、【図書室だより】の   の文を二つの文に分けて書き直すことにしました。文と文をつなぐ言葉には、「そこで」を使います。書き直した一文目の終わりの五文字と、二文目の「そこで、」に続く五文字を書きましょう。なお、読点（、）も字数にふくみます。

本を借りることが少なくなった理由の中に、「どんな本を読めばよいか分からない」という回答があったので、たくさんの本を読んでいる田中さんと古田さんに本の選び方について聞いてみました。

。そこで、

【正答】 ありました。そこで、たくさんの

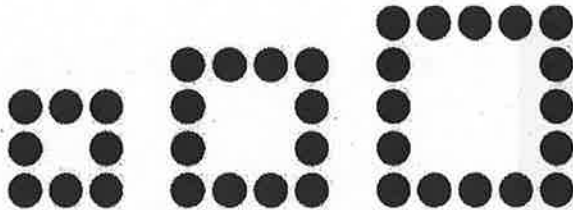
② 小学校算数

○成果や改善傾向の見られた問題

【問題例】算数 小学校6年 8 (1)

数量の変化に着目して、その様子を表にまとめること 正答率 84.6%

次に、かすみさんは、下の図のように四角形を並べたとき、●の数が、どのように変わっていくかを調べることにしました。



一辺の●の数(個)	3	4	5	6	7	
必要な●の数(個)						

【正答】

一辺の●の数(個)	3	4	5	6	7
必要な●の数(個)	8	12	16	20	24

上の表にあてはまる数を書きましょう。

●課題の見られた問題

【問題例】算数 小学校6年 11

必要な数値を抽出して、値段の差がA店の値段の10%にあたることを式で表すこと

正答率 6.4%

そうたさんは、オレンジジュースを買いにきました。A店とB店で売っているオレンジジュースの値段を見ると、次の表のとおりでした。

A店	B店
140円	126円

B店のオレンジジュースの値段は、A店のオレンジジュースの値段より14円安いです。このことから、そうたさんは次のことに気づきました。

A店とB店のオレンジジュースの値段の差は、A店のオレンジジュースの値段の10%にあたるね。



A店とB店のオレンジジュースの値段の差が、A店のオレンジジュースの値段の10%にあたることを求める式を書きましょう。

【正答例】  $14 \div 140 \times 100 = 10$

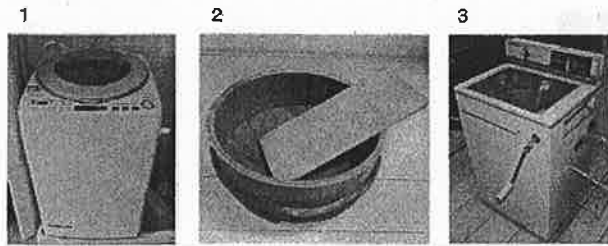
③小学校社会

○成果や改善傾向の見られた問題

【問題例】社会 小学校5年 3 (1)

昔の人々の使っていた道具を理解すること **正答率 98.5%**

3 次の1から3は、せんたくをする道具とその説明です。あとの問題に答えましょう。



1  
せんたくから、だっ水まで自動で行うことができる。

2  
よごれをたしかめながら、ごしごとあらうので、水をむだにせずあらうことができる。

3  
ローラーの間にせんたく物をはさんで、しぼることができる。

(1) 道具はどの順で変化してきたでしょう。1から3を古い順にならべ、[ ]に番号を書きましょう。

古い順に [ ] → [ ] → [ ]

**【正答】古い順に [2] → [3] → [1]**

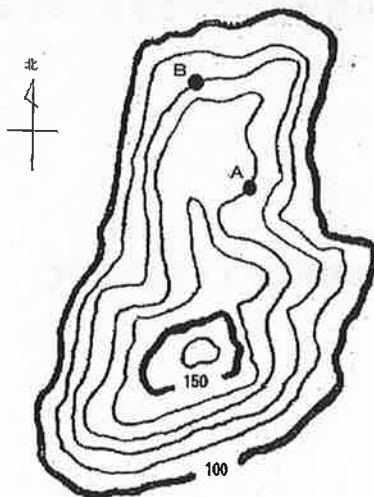
●課題の見られた問題

【問題例】社会 小学校5年 5 (1)

等高線の名称を理解すること **正答率 6.9%**

5 あかねさんたちは、一週間前に遠足で登った「あさひ山」について、地図を見ながら話し合っています。  
【話し合いの様子】をよんで、あとの問題に答えましょう。

地図 「あさひ山」の土地の高さの様子



※数字の単位はm (メートル)

【話し合いの様子】

あかね この前の遠足は楽しかったね。わたしたちが登った「あさひ山」について、学習してみよう。

たける 地図は「あさひ山」の土地の高さの様子をあらわしているね。地図には、同じ高さのところを線でむすんだ(ア)という線がしめしてあるね。

けんじ この線を見ると、どのくらいの高さの土地なのか、すぐわかるようになっているね。

しおり それだけじゃないよ。(ア)の間かくの広さを見ることで、土地のかたむきについても読み取ることができたよね。

あかね そうだったね。だから、わたしたちが登った「あさひ山」についてわかることは、(イ)ということになるね。

(1) (ア)に入る言葉を答えましょう。

**【正答】等高線**

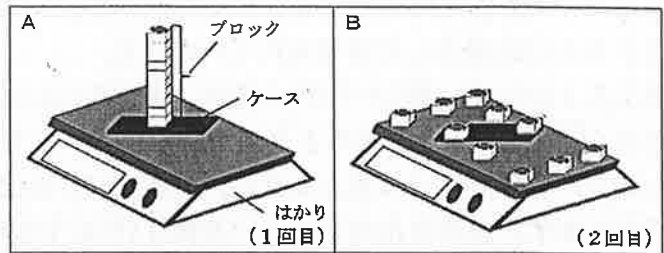
④小学校理科

○成果や改善傾向の見られた問題

【問題例】理科 小学校5年 2 (1)

物の重さについて、物の形や物自体の増減とを関連付けて理解すること 正答率 85.2%

太郎さんは、ブロック10個とケースを、1回目は次のAのように、2回目は次のBのように、ちがう置き方をしてはかりに乗せました。実験の結果を適切に説明している文を、下のアからウの中から一つ選んで、記号で答えましょう。



- ア Aの方が重い。
- イ Bの方が重い。
- ウ AとBの重さは同じ。

【正答】ウ

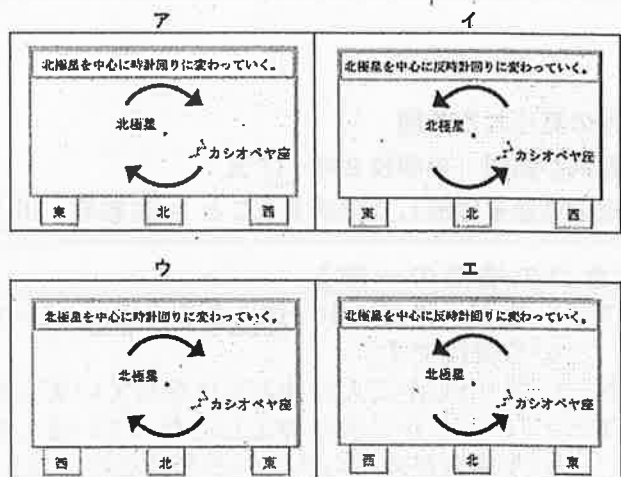
●課題の見られた問題

【問題例】理科 小学校5年 4 (2)

星や星座の見た目の位置の変化について、推察すること 正答率 18.7%

太郎さんは、8月8日に月や太陽、星の観察を行いました。

午後8時から30分ごとに3回、北の星空を観察しました。北の空の星や星座の見た目の位置を表した図のうち、正しいものを、次のアからエの中から一つ選んで、記号で答えましょう。



【正答】エ

⑤中学校国語

○成果や改善傾向の見られた問題

【問題例】国語 中学校1年 1 一

文脈に即して、適切な語句を選択すること **正答率 96.4%**

【文学的な文章の一部】

その時、太郎さんは七つ、妹の千代子さんは五つでありました。太郎さんはお父さんに背負われ、千代子さんはお母さんに背負われていました。

春三月とはいえ、峠(とうげ)の道は、まだきつい寒さでした。夜あけ前の四時ごろ、空にはお星さまが、**A**と氷のようにかがやいています。山はどちらを見ても、すみをぬったように真っ黒で、灯のかけ一つ見えません。お家(うち)を出てから、もう一里あまり山の中へ入って来たのであります。お父さんのさげている提灯(ちょうちん)のあかりが、道ばたの枯草(かれくさ)にうつるのを見ると、そこここに雪のかたまりが凍(こお)りついています。

一 文章中の **A** に入る言葉として最も適切なものを、次の1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 さらさら    2 がたがた    3 きらきら    4 そよそよ

**【正答】 3**

●課題の見られた問題

【問題例】国語 中学校2年 1 五

表現の意図を理解して説明すること **正答率 10.2%**

【話合いの場面の一部】

木下 私が、作品の中で気になるのは、「いつしか二人は仲よしになってしまいました。」という表現です。

中村 「いつしか二人は仲よしになっていました。」という言い方とは感じが違いますね。

木下 「いつしか二人は仲よしになっていました。」という表現では、二人が仲よしになったという事実が述べられているだけなのに対して、「いつしか二人は仲よしになってしまいました。」という表現では、読者にこの物語の **A** を予想させます。

五 【話合いの場面の一部】の **A** で木下さんは「いつしか二人は仲よしになっていました。」という表現と「いつしか二人は仲よしになってしまいました。」という表現との違いを説明しようとしています。あなたなら、どのように説明しますか。「を予想させる」とつながるように、七字以内(句読点も文字数に含む)で書きなさい。

**【正答例】 悲しい結末**



⑥中学校数学

○成果や改善傾向の見られた問題

【問題例】数学 中学校1年 6 (2)

表から読み取った事柄を的確に評価すること 正答率 89.4%

6 次の記録は、ある中学校の1年生19人が反復横とびを20秒間行ったときの結果を、回数の少ない方から順に並べたものです。

記録

30	33	34	35	36	37	38	39	39	41
44	46	46	47	49	51	52	54	57	

柳井さんは、ちらばりのようすが分かるように、結果を5回ごとに区切って、次のような表をつくりました。

表

回数(回)	人数(人)
30回～35回	3
35～40	6
40～45	2
45～50	4
50～55	3
55～60	1
合計	19

次の(1)、(2)に答えなさい。

(2) 柳井さんは、表から分かることとして、次のア～エを書きました。ア～エの中に、間違っているものが1つあります。間違っているものを選び、記号で答えなさい。

- ア この中学校の1年生19人の記録の中に、記録が30回より少ない人はいない。
- イ この中学校の1年生19人の記録の中に、記録が60回より多い人はいない。
- ウ 表の中で人数が一番多い区間は、35回以上40回未満である。
- エ 表の中で人数が一番少ない区間は、30回以上35回未満である。

【正答】 エ

●課題の見られた問題

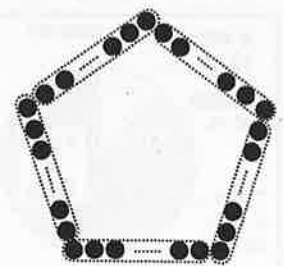
【問題例】数学 中学校2年 10 (2)

事象と式の対応を的確に捉え、文字式の成り立ちを説明すること 正答率 32.3%

10 岩国さんは、右の図のように、1辺に  $n$  枚つコインを並べて正五角形をつくる時、コインが全部で何枚必要かを考えています。次の(1)～(3)に答えなさい。



(2) 岩国さんは、次の図のようにコインを囲んで考えました。図のような囲み方になると、コイン全部の枚数は、 $5(n-1)$  という式で求めることができる理由について、の中の岩国さんの説明を完成させなさい。



**【正答例】** 1辺に並んでいるコインは  $n$  枚あり、そのうち一つの頂点のコインを除いて囲むので、図の囲み方するとき1辺につき  $(n-1)$  枚のコインが並んでいる。この囲みが5つあるので、 $(n-1)$  を5倍する。(以上から、コインは全部で  $5(n-1)$  枚です。)

⑦中学校社会

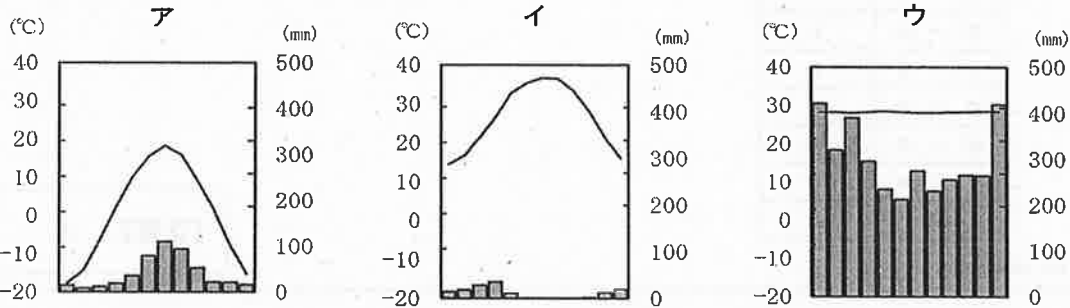
○成果や改善傾向の見られた問題

【問題例】社会 中学校2年 2 (2)

入々の暮らしと雨温図を関連付けて選択すること **正答率 79.1%**

次の①～③の文は、下のア～ウの雨温図が示す地域の食生活について説明したものである。①～③の食生活が見られる地域の雨温図をそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- ① 乾燥に強いらくや羊の肉を使った料理、小麦のうす焼きパンやトウモロコシなどが食べられている。
- ② 高温多湿の地域でよく育つキャッサバやタロイもなどのいも類、米を主食とした料理が食べられている。
- ③ 短い夏の間栽培した野菜を酢づけにした保存食やジャガイモ、魚・肉料理などが食べられている。



(理科年表 2018)

**【正答】①イ ②ウ ③ア**

●課題の見られた問題

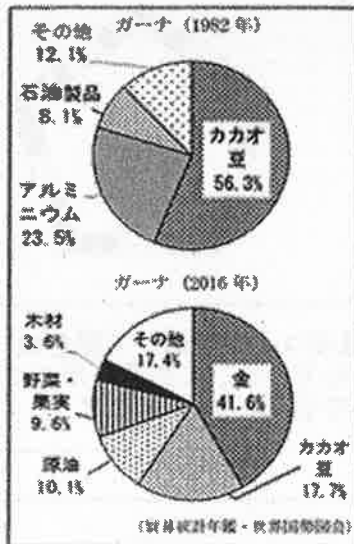
【問題例】社会 中学校2年 4 (1)

資料から必要な情報を読み取り、読み取った情報を関連付けて説明すること **正答率 26.2%**

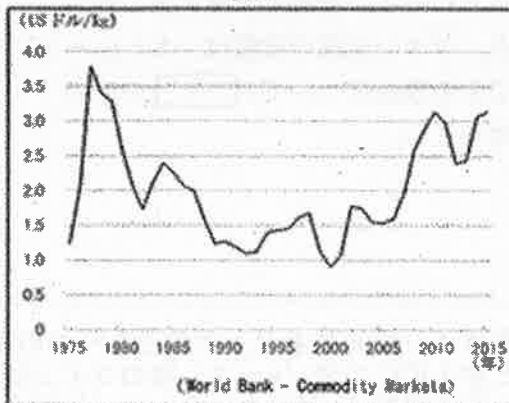
4 (1) 資料4は1982年と2016年のガーナの主な輸出品の内訳、資料5はカカオ豆の国際価格の推移を示したものである。ガーナの輸出品が変化した理由を、下の条件①と条件②にしたがって説明しなさい。

※ 国際価格とは、世界各国において広く貿易が行われている商品の価格のこと。

資料4



資料5



条件①: カカオ豆の国際価格について触れること  
条件②: 「モノカルチャー経済」という語句を用いること

**【正答例】**  
カカオ豆の国際価格の変動が大きく、モノカルチャー経済では国の収入が安定しないため

⑧中学校理科

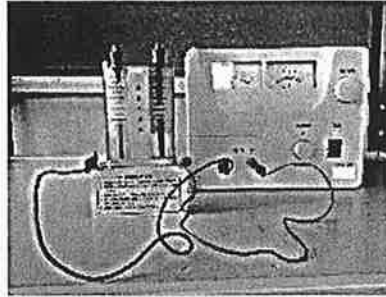
○成果や改善傾向の見られた問題

【問題例】理科 中学校2年 7 (2).

化学式を見て単体か化合物かどうかを判別すること **正答率 82.9%**

7 図1のような装置を用いて、水を電気分解した。  
この実験で起きた化学変化は、次の化学反応式で表すことができる。(1)～(3)の問いに答えなさい。

図1



(2)  $\text{H}_2\text{O}$ ,  $\text{H}_2$ ,  $\text{O}_2$ の化学式で表される3つの物質の中で化合物はどれか。次の1～3から1つ選び、記号で答えなさい。

1  $\text{H}_2\text{O}$       2  $\text{H}_2$       3  $\text{O}_2$

**【正答】 1**

●課題の見られた問題

【問題例】理科 中学校2年 5 (3)

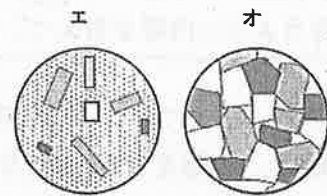
資料を活用して火成岩の特徴から岩石の種類を判別すること **正答率 24.5%**

5 表1は、マグマのはたらきによってできる火成岩や火山についてまとめたものである。また、図1のア～ウは火山の形を、図2のエ、オは火成岩の表面をルーペで観察したときの様子を模式的に表したものである。次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

表1

地衣や地表近くで急に冷え固まった岩石	リウソウムが流紋岩	安山岩	げんがが玄武岩
地下深くでゆっくり冷え固まった岩石	花こう岩	せん緑岩	はんれい岩
火成岩をつくる鉱物と割合	セキエイ	チョウ石 カクセン石	その他の鉱物 キ石 カンラン石
岩石(溶岩)の色	白っぽい	←→	黒っぽい
マグマのねばりけ	大きい(強い)	←→	小さい(弱い)
火山の形	A	B	C

図2



(3) ある火成岩を調べたら、次のようなことがわかった。<わかったこと>と表1及び図2を基に、この火成岩の名称を答えなさい。

<わかったこと>

この岩石に含まれる鉱物を調べるとセキエイ、チョウ石、クロウンモ、カクセン石が含まれていた。しかし、キ石は含まれていなかった。また、表面の様子は、図2のオのようであった。

**【正答】 花こう岩**

⑨中学校英語

○成果や改善傾向の見られた問題

【問題例】英語 中学校2年 1 (2)

日常的な話題について、情報を正確に聞き取ること 正答率 96.6%

1 (聞き取り問題)

これから、(1)と(2)の絵について、ア～ウの3つの英文を放送します。それぞれの絵の内容に最もふさわしい英文を1つずつ選び、記号で答えなさい。英文は1回だけ放送します。



(先週の天気)



(今日の天気)

- ア It was cold last week, and it is cold today, too.
- イ It was cold last week, but it is hot today.
- ウ it was hot last week, but it is cold today.

【正答】 イ

●課題の見られた問題

【問題例】英語 中学校2年 7 (2)

文脈に合うように内容を考えて、基本的な文法事項を活用し英文を書くこと 正答率 19.1%

7 次の(1)～(3)の対話文について、それぞれ( )に合う3語以上の英文1文を書き、会話を完成させない。ただし、英文の最後にはピリオド、またはクエスチョンマークをつけなさい。

(2) 【場面】ミクは生徒会通信にALTについての記事を書くことになり、ALTのブラウン先生にインタビューしています。

Miku: How is your \*life in Japan?

Mr. Brown: It's exciting! \*Everything is new to me.

Miku: I see. ( )

Mr. Brown: Well, I play *shogi* in my free time, but I can't play it \*well.

Miku: You play *shogi*? I learn about it every Saturday.

Mr. Brown: Really? Let's play *shogi* together.

(注) life : 生活 everything : すべてのこと well : 上手に

【正答例】 What do you do in your free time?

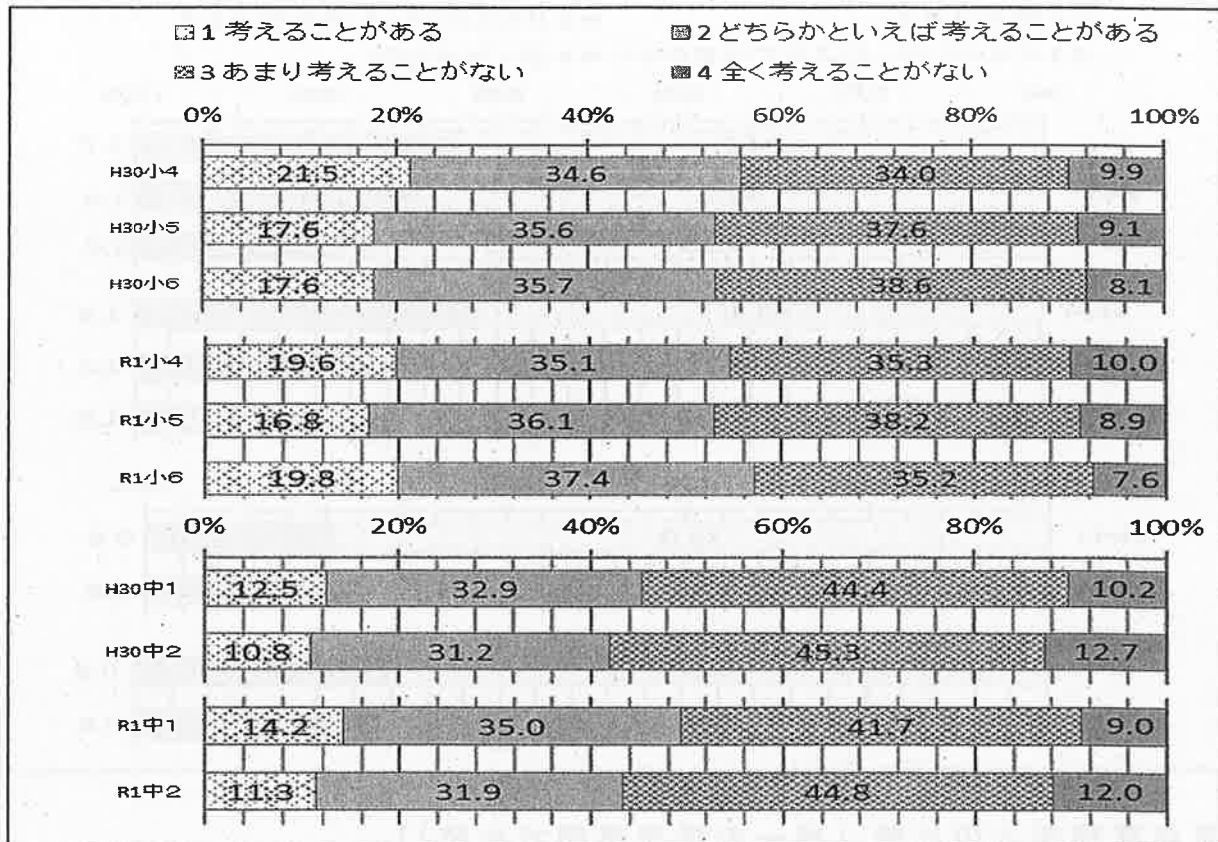
3 児童生徒質問紙調査の結果(特徴的なもの) (○:成果 △:一部成果 ●:課題)

【社会に開かれた教育課程の実現】

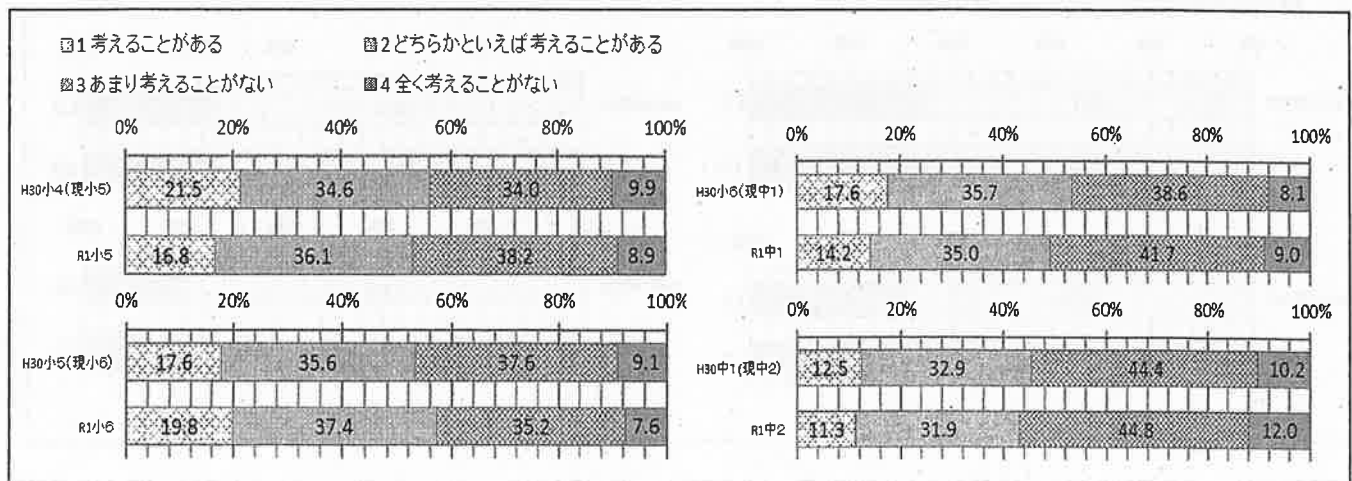
(1) 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。【質問項目4】

- △ 肯定的な回答の割合を、学年ごとに前年度と比較すると、小学4・5年生では減少しているが、小学6年生、中学1・2年で増加している。
- 肯定的な回答の割合を、同一の学年集団で比較すると、小学6年生で増加しているが、小学5年生、中学1・2年生で減少している。

【前年度調査との比較(学年ごとの比較)】



【前年度調査との比較(同一の学年集団で比較)】

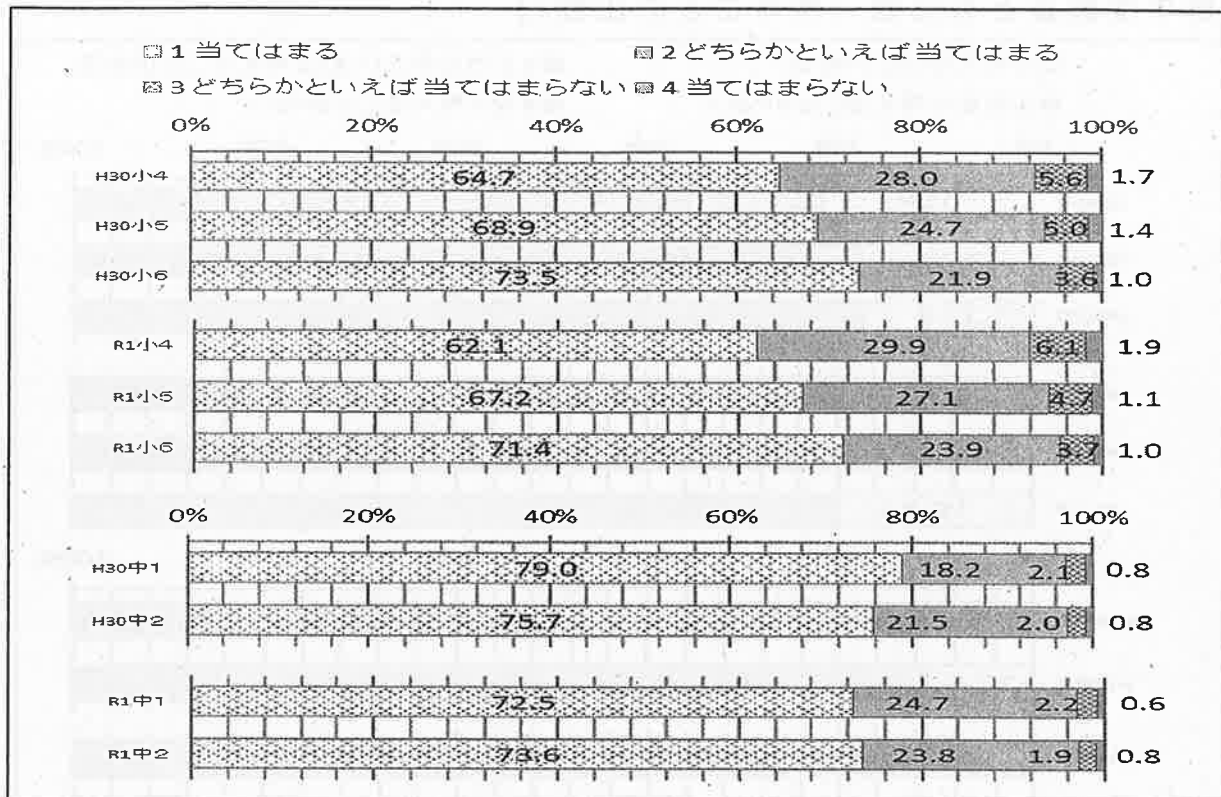


【主体的・対話的で深い学びからの授業改善】

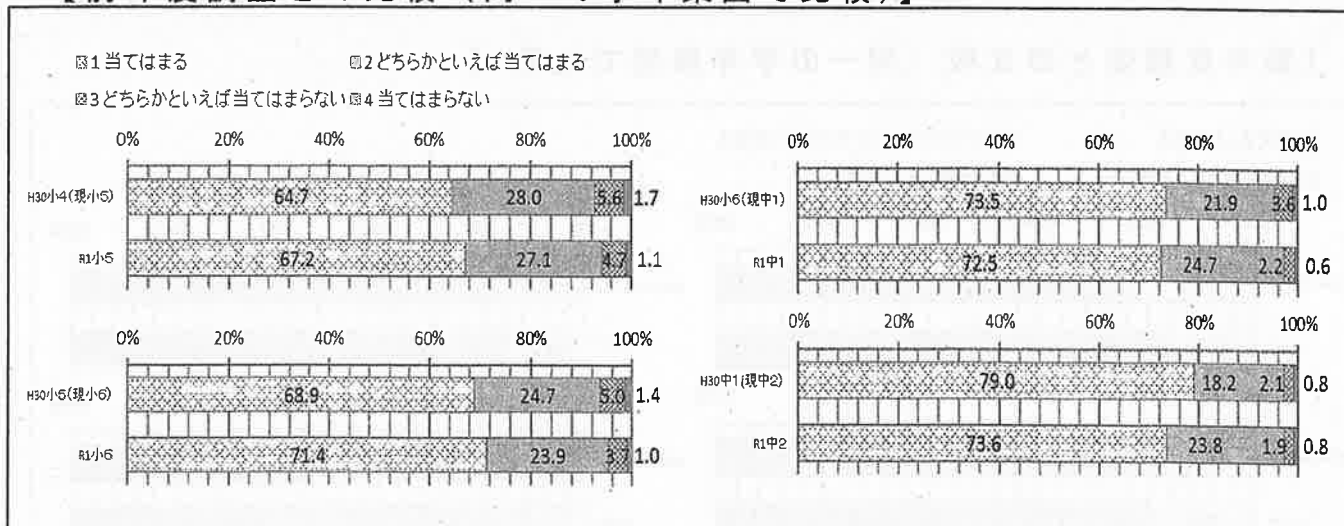
(2) 授業の中で、授業の目標（めあて、ねらい）が示されている。【質問項目6①】

- 「当てはまる」と回答した割合は、学年ごとに前年度と比較すると、全ての学年で減少している。
- 「当てはまる」と回答した割合を、同一の学年集団で比較すると、小学4・5年生で増加しているが、中学1・2年生で減少している。

【前年度調査との比較（学年ごとの比較）】



【前年度調査との比較（同一の学年集団で比較）】

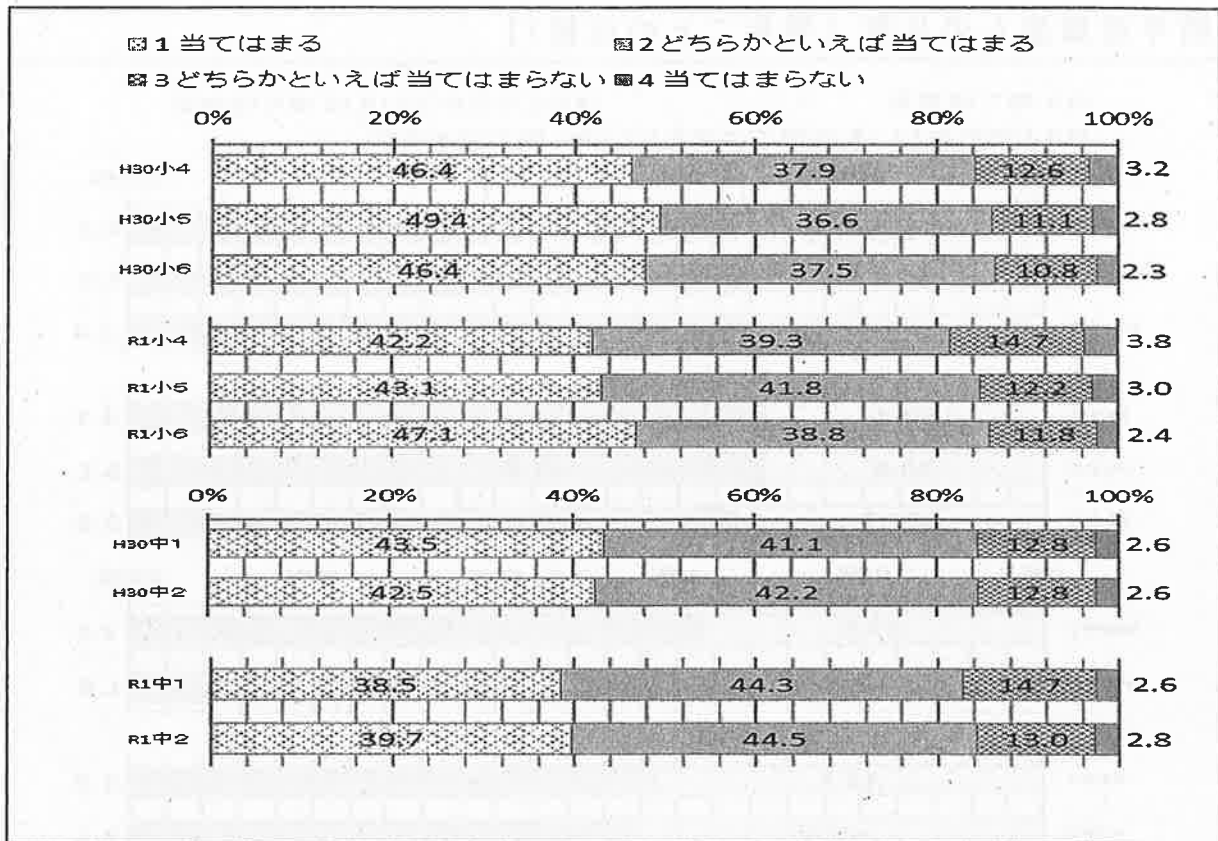




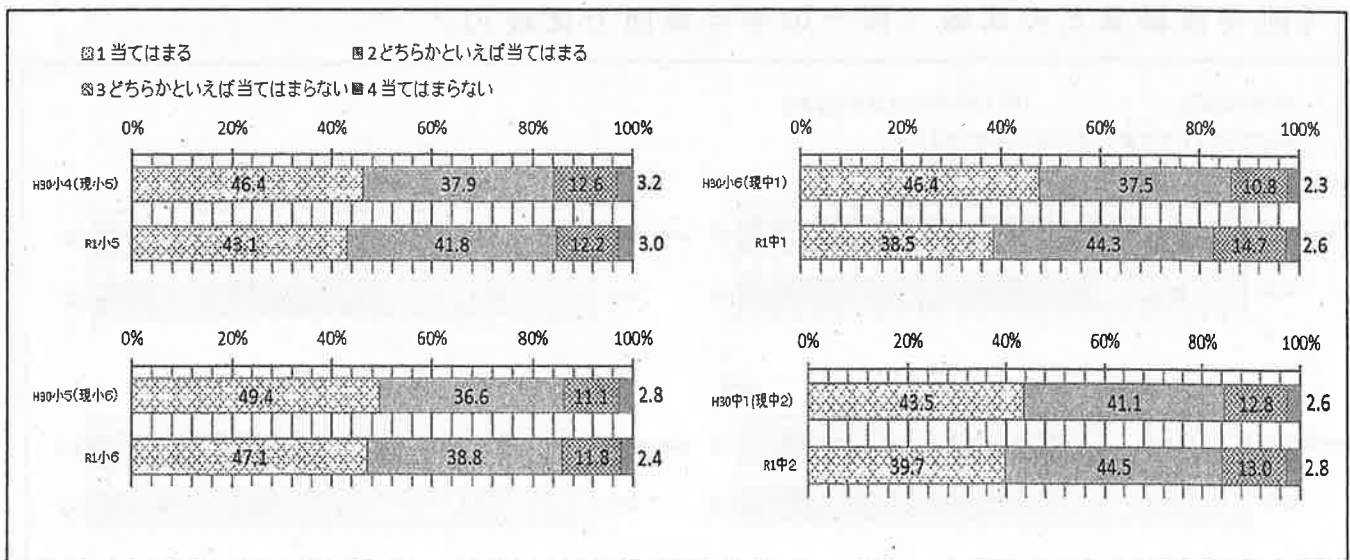
(3) 授業の最後に、学習活動を振り返る活動をよく行っている。【質問項目 6②】

- 「当てはまる」と回答した割合は、学年ごとに前年度と比較すると、小学6年以外の学年で減少している。
- 同一の学年集団で比較した場合も、全ての学年で「当てはまる」と回答した割合が減少している。

【前年度調査との比較（学年ごとの比較）】



【前年度調査との比較（同一の学年集団で比較）】

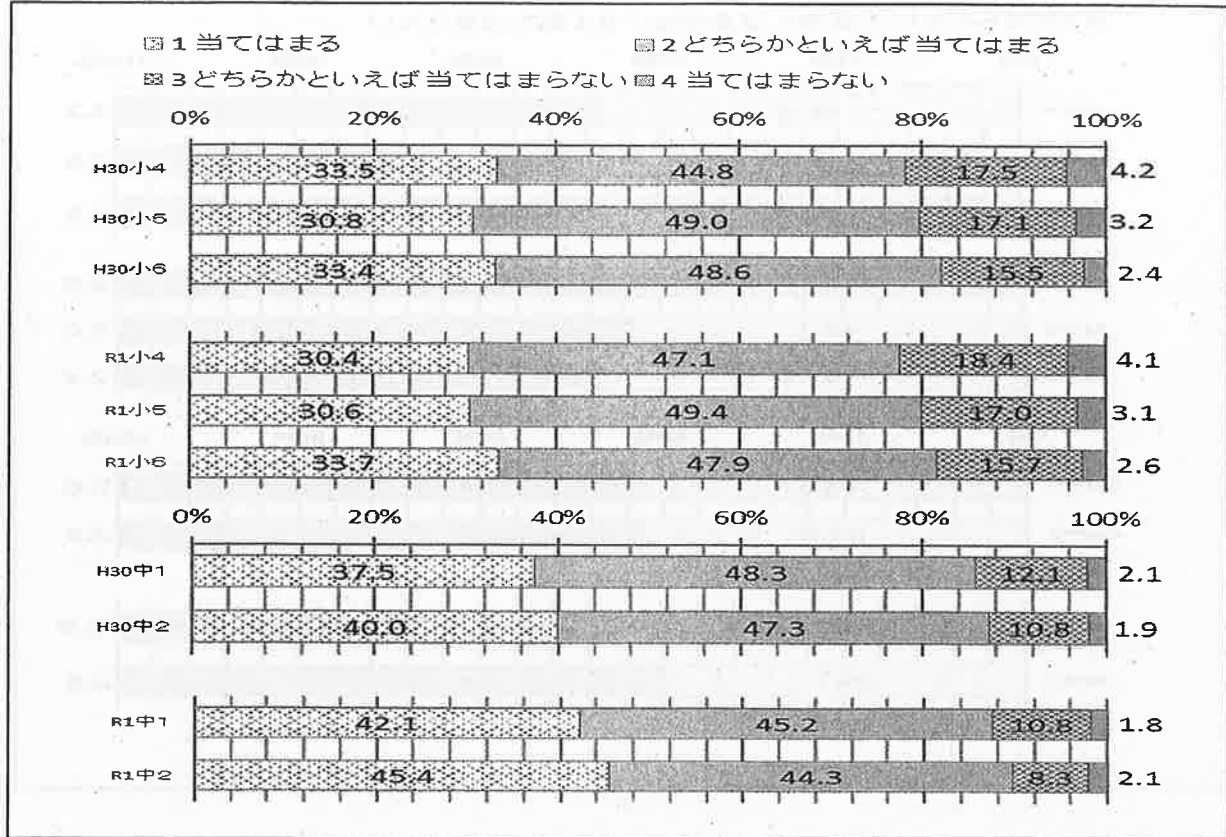


(4) 授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいると思う。【質問項目6③】

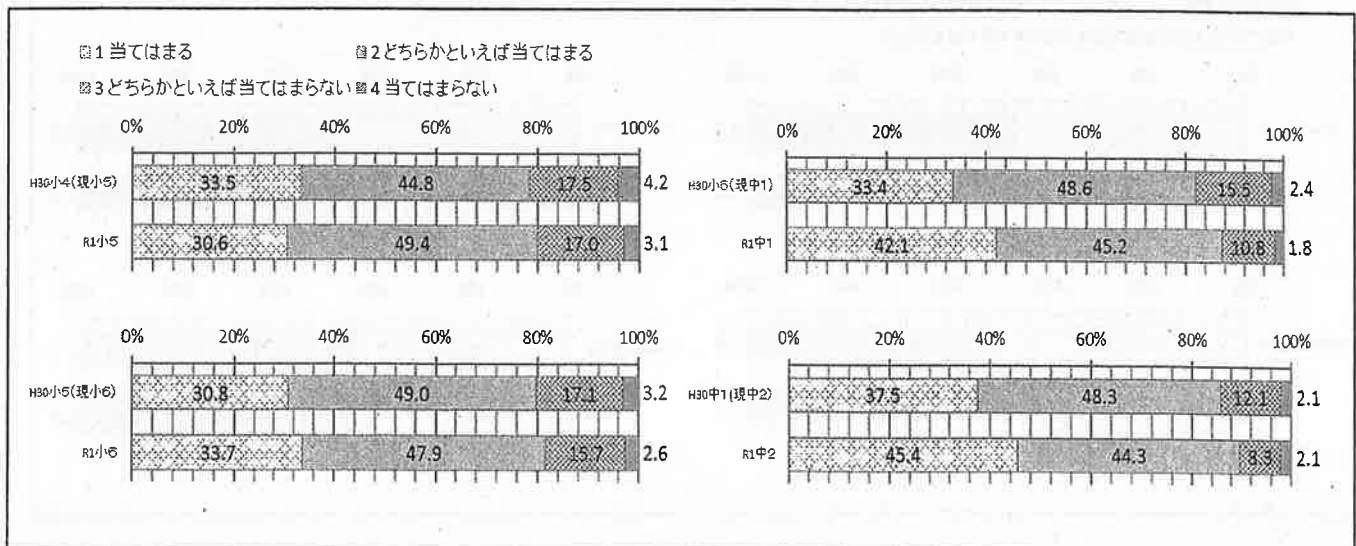
△ 肯定的な回答の割合を、学年ごとに比較すると、小学校は大きな変化はないが、中学校は増加している。

○ 同一の学年集団で比較した場合も、全ての学年で肯定的な回答の割合が増加している。特に、小学6年生以上の学年で、「当てはまる」と回答した割合が増加している。

【前年度調査との比較（学年ごとの比較）】



【前年度調査との比較（同一の学年集団で比較）】

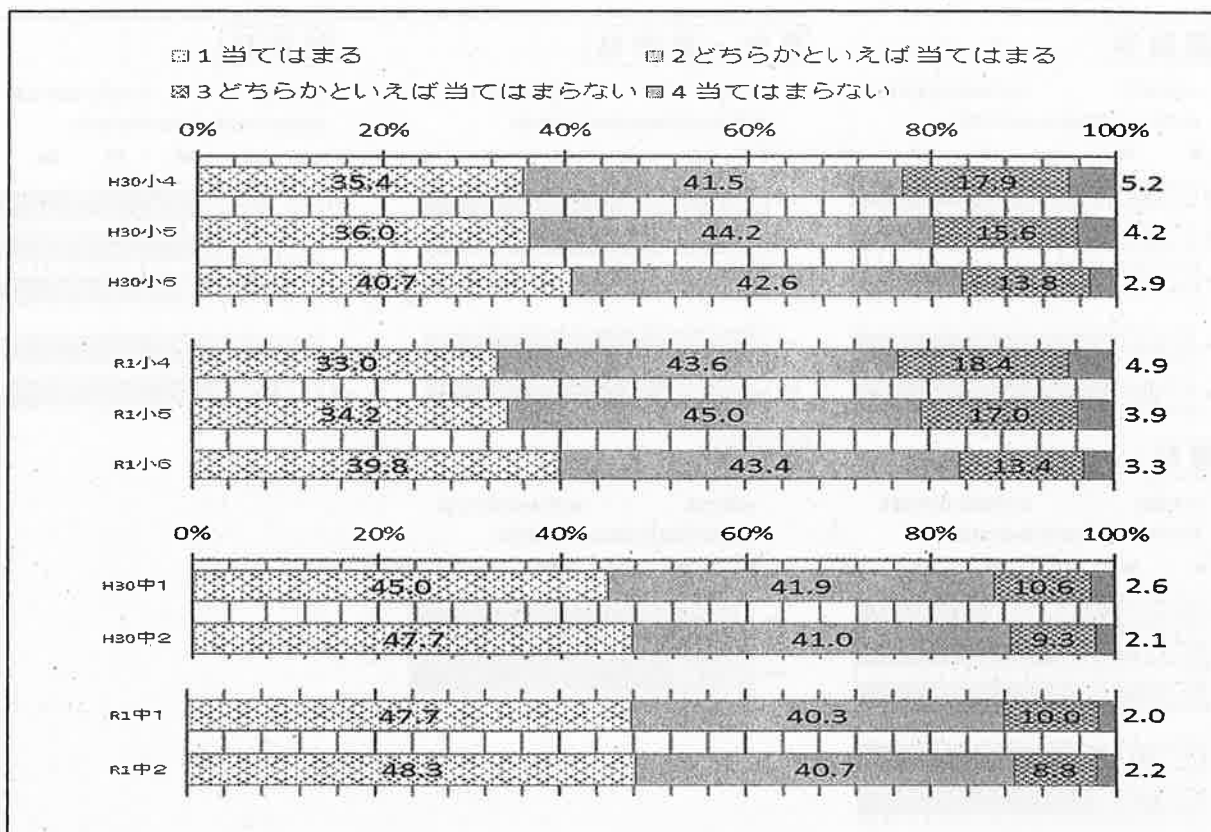




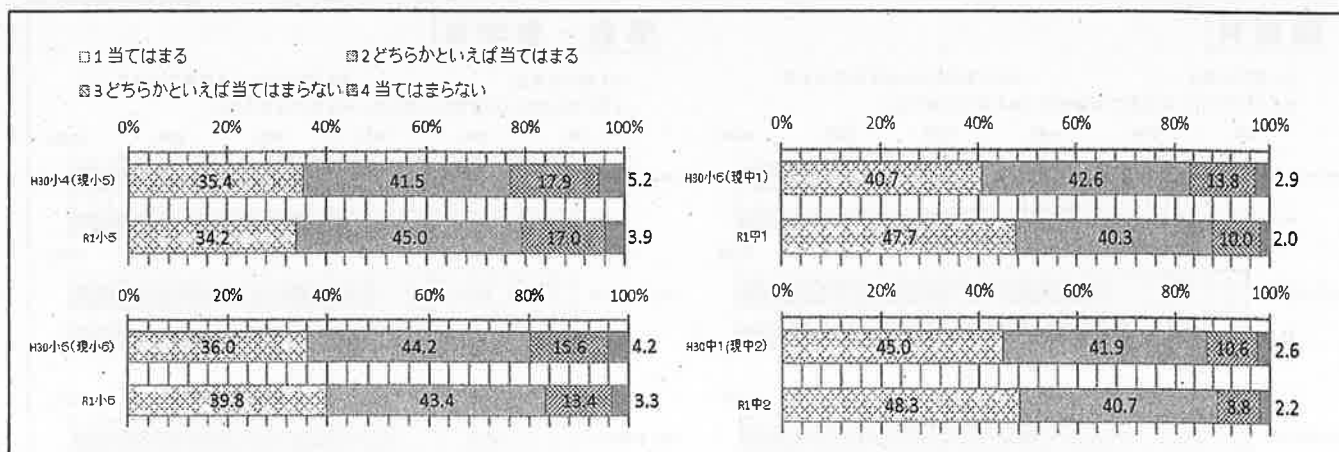
(5) 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。【質問項目6⑥】

- 肯定的な回答の割合を、学年ごとに前年度調査と比較すると、小・中学校とも、大きな変化はない。
- 肯定的な回答の割合を、同一の学年集団で比較すると、小・中学校とも増加しており、特に小学6年生以上の学年において、「当てはまる」と回答した割合が増加している。

【前年度調査との比較（学年ごとの比較）】



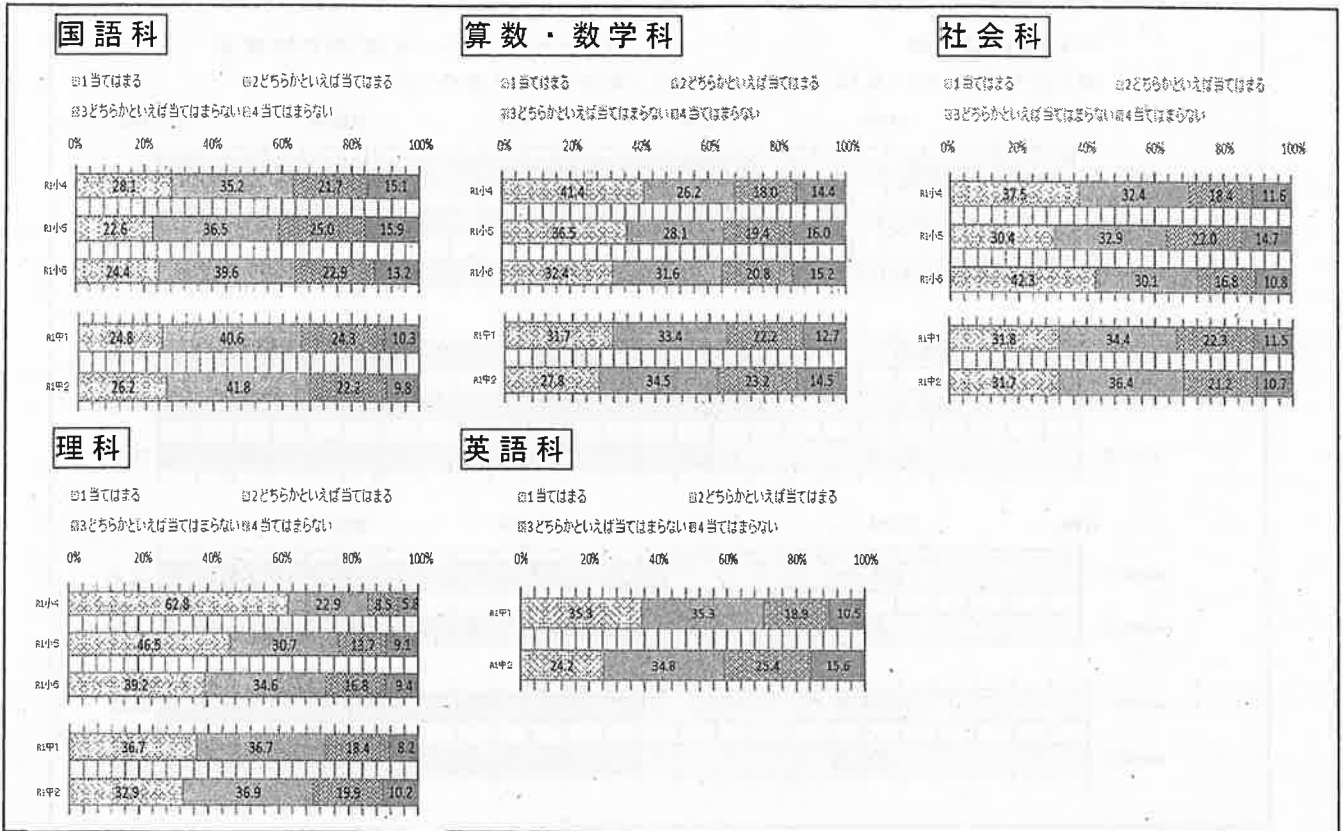
【前年度調査との比較（同一の学年集団で比較）】



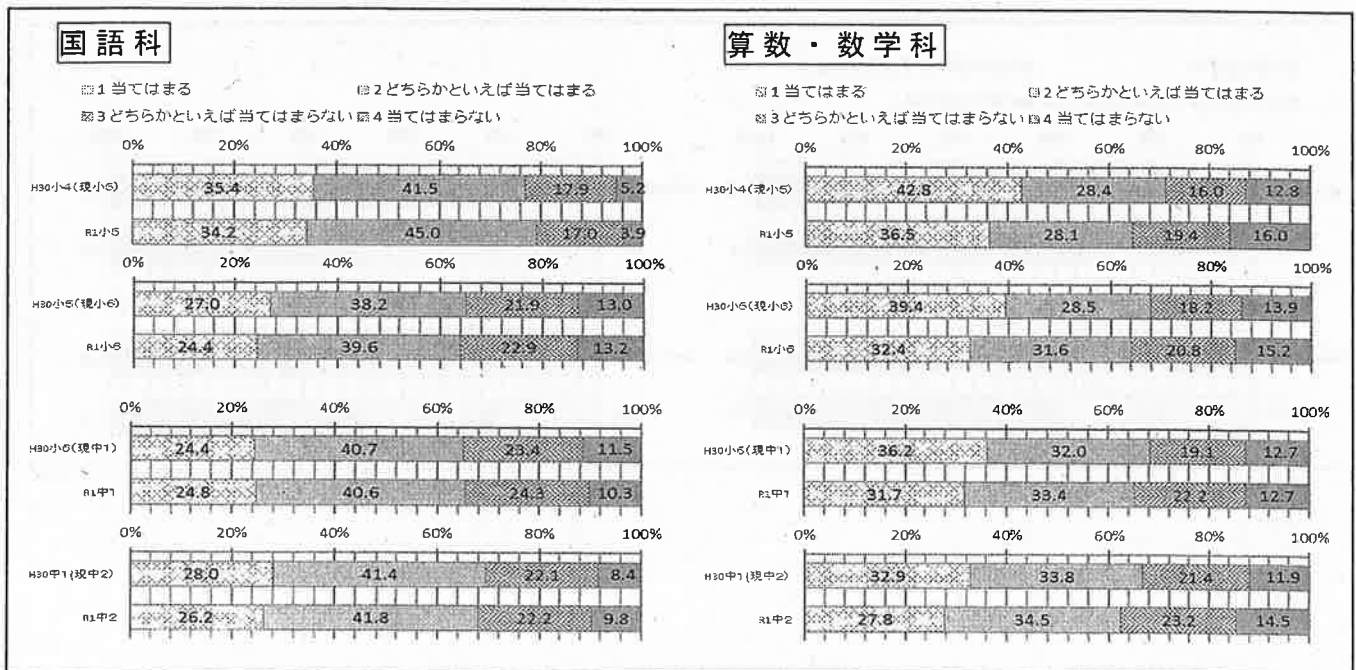
(6) 各教科の勉強が好きだ。【質問項目 6⑦~⑪ ⑪は中学校のみ】

- 算数・数学科、理科、英語科においては、学年が上がるにつれ、肯定的な回答の割合が減少する傾向が顕著である。
- 国語科、算数・数学科においては、同一の学年集団で比較すると、中学1年生の国語科を除き、「当てはまる」と回答した割合が前年度から減少しており、学年が上がるにつれ、教科の学習が好きだという回答が減少している。

【今年度調査の結果】



【前年度調査との比較（同一の学年集団で比較）】





令和2年3月新規高等学校等卒業予定者の就職内定状況等について

1 令和2年3月新規高等学校等卒業予定者の求人・求職・就職内定状況

令和元年10月末日現在（山口労働局調べ）

項目		性別	合計	男子	女子	前年同期比
A 求人数(人)	県内安定 所受理数		(6,508) 7,007			7.7%
	県内就職 希望者数		(2,574) 2,574	(1,532) 1,550	(1,042) 1,024	0.0%
B 求職者数 (人)	県外就職 希望者数		(554) 562	(425) 433	(129) 129	1.4%
	合計		(3,128) 3,136	(1,957) 1,983	(1,171) 1,153	0.3%
	C=A/B 求人倍率(倍)		(2.08) 2.23			0.15ポイント
D 就職 内定者数 (人)	県内 就職者数		(2,297) 2,279	(1,391) 1,412	(906) 867	-0.8%
	県外 就職者数		(524) 533	(413) 416	(111) 117	1.7%
	合計		(2,821) 2,812	(1,804) 1,828	(1,017) 984	-0.3%
E=D/B 就職 内定率 (%)	県内就職		(89.2) 88.5	(90.8) 91.1	(86.9) 84.7	-0.7ポイント
	県外就職		(94.6) 94.8	(97.2) 96.1	(86.0) 90.7	0.2ポイント
	合計		(90.2) 89.7	(92.2) 92.2	(86.8) 85.3	-0.5ポイント
F 県内・県外 就職内定 比率 (%)	県内就職		(81.4) 81.0	(77.1) 77.2	(89.1) 88.1	-0.4ポイント
	県外就職		(18.6) 19.0	(22.9) 22.8	(10.9) 11.9	0.4ポイント

(注) 1. ( )内は昨年同期の数値である。  
 2. 求人数【A欄】は、山口県内の公共職業安定所で受理した求人数である。  
 3. 求職者数【B欄】は、学校又は公共職業安定所の紹介を希望する者の数である。  
 4. 求人倍率【C欄】は、Aの求人数/Bの求職者数(合計)である。  
 5. 県内・県外就職比率【F欄】は、就職内定者数【D欄】の合計に対する県内・県外就職内定者数の比率である。

## 2 令和2年3月新規高等学校等卒業予定者への支援

### (1) 本年度の主な取組等

- 県内就職促進統括マネージャーの県央部への継続配置
  - ・ 県内企業の情報等の集約、連携機関との窓口の一元化、県内全域での広域マッチング（就職サポーター等と連携）
- 県内企業就職説明会への参加対象者の拡充
  - ・ 企業の採用担当者等と直接面談を実施（県内延べ4会場）
  - ・ 1・2年生及び就職希望の3年生並びに保護者を対象
- 高校生県内就職促進プロジェクトチームにおける継続協議・検討
  - ・ 教育庁・商工労働部・総務部・総合企画部・産業戦略部をメンバーとして、県内就職をより総合的かつ一体的に促進

### (2) 今後の取組

- 就職未内定者への支援（県内求人情報の提供等）
  - ・ 県内就職促進統括マネージャーを中心に県内全域の情報を共有し、教員やチーフ就職サポーター、就職サポーター、総合支援学校就職支援コーディネーターによる県内企業情報の提供・マッチング等のきめ細かな就職相談
  - ・ 山口労働局作成の未充足高卒求人リストによるマッチングの促進
- 就職サポーター等による2年生を対象とした早期からの個別面談の実施

## 3 県立特別支援学校における支援

### (1) 令和2年3月新規卒業予定者の求職・就職内定状況

令和元年10月末日現在（特別支援教育推進室調べ）

	希望者数(人)	内定者数(人)	内定率(%)	前年同期比
就 職	(88)	(20)	(22.7)	-1.5ポイント
	85	18	21.2	
福祉施設	(163)	(33)	(20.2)	2.0ポイント
	162	36	22.2	
在 宅	(3)			
	7			

( ) 内は昨年同期の数値

### (2) 令和2年3月高等部卒業予定者への支援

#### ア 新たな現場実習先の開拓と現場実習の充実

- 総合支援学校就職支援コーディネーターによる実習先の開拓及び障害者雇用への理解促進
- ハローワーク等との連携強化による職域の拡大及び実習先の開拓
- 本人の希望や適性と企業のニーズとのマッチングの促進及び主体的な進路選択に向けた早期からの現場実習の充実

#### イ 関係機関との連携強化による就職支援

- ハローワークや障害者職業センター、障害者就業・生活支援センター、労働政策課、特別支援教育センター等との連携強化
- 関係機関との個別の進路相談やケース会議を通じた現在の状況把握、就職支援情報や福祉サービス事業所の利用等に関する情報提供を行うなどの支援継続

